

（３）福島復興に向けた取り組み

福島復興に向けた取り組みの深化 早期帰還に向けた生活環境の整備

● 早期帰還に向けた人的・技術的資源の集中投入

放射性物質への不安を感じることなく、安心して暮らせる環境を整備

● 農業、漁業、商工業再開に向けたご協力

農業・商工業など暮らしと密着した産業の再生

「10万人派遣プロジェクト」による社員派遣や国の実施する除染の加速化へ向けた協力など、人的・技術的資源を集中投入することで、生活環境の整備を推進し、住民の方々の早期帰還に向けて全力を尽くす。

- ご帰還を希望される方全員のご自宅を対象に清掃・除草及び屋内・敷地内の線量測定を実施
- 生活環境や生活パターンに応じて個人線量を計測
- 介護技術・知識を取得するための講習会の開催
- “いきがい”としての農業再開に向けて、田畑周辺の除草やモニタリング等へご協力
- 海水や魚介類のサンプリング調査・公表を通じた風評被害の払拭
- 商店や事務所等の片付け・清掃等や、労働・執務環境の線量計測等へご協力



福島復興に向けた取り組みの深化 産業基盤や雇用機会の創出 ①

● 先端廃炉技術グローバル拠点構想

廃炉や放射性廃棄物処理に資する複数の研究開発拠点、新産業拠点を「先端廃炉技術グローバル拠点構想」としてとりまとめ、「廃炉に向けた課題解決」と「原子力に代わる新たな雇用機会創出」を同時に実現

● ロボット開発用モックアップセンター

「遠隔操作機器・装置の開発実証施設*」において、廃止措置の各段階で必要な遠隔操作技術の研究開発を促進

● 燃料デブリ等高放射性物質分析のための分析センター

「放射性物質の分析・研究施設*」において、燃料デブリ等の性状把握や放射性廃棄物の処理・処分技術を開発

● リサイクルセンター

帰還・事業再開、廃炉等の過程で排出された金属、コンクリート等のリサイクルを促進するための複合施設

● 周辺施設のバックオフィスや国際会議場等のサテライトセンター

● 福島廃炉技術開発センター(仮称)

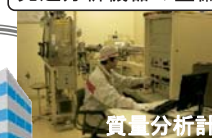
現場第一線のサポート機能の強化を目的に研究施設を設置

※(独)日本原子力研究開発機構(JAEA)が設置



分析・研究設備の整備

先進分析機器の整備



国際的な人材の育成

福島復興に向けた取り組みの深化 産業基盤や雇用機会の創出 ②

● 世界最新鋭高効率石炭火力の建設による産業・雇用創出。

福島ので、我が国が誇るクリーンコール技術である大型IGCC*設備を世界に先駆けて実証し、復興のシンボル「クリーンコール技術の発信拠点」として世界にアピール

● 中小経年水力発電所の継続的設備改修による雇用創出等。

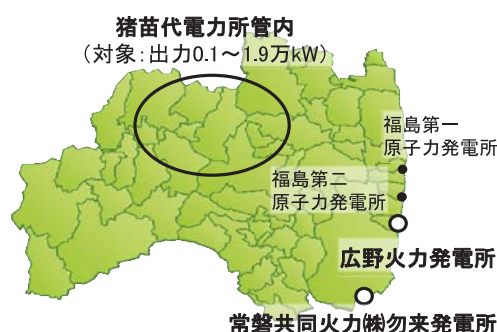
福島県の猪苗代水系の中小水力発電所を今後10年間で順次設備改修し、地元雇用と経済に貢献

● 東電の一部業務の浜通り地域への移転。

東電の業務の一部(給与計算やお客さまへの資料郵送業務等)を浜通り地域へ業務移転

- ・ 広野火力発電所(双葉郡)及び常磐共同火力株式会社勿来発電所(いわき市)の構内に、50万kW級の世界最新鋭の高効率石炭火力発電所(IGCC)を各1基建設・運転する実証プロジェクト
- ・ 中小経年水力設備改修時の工事資機材も、福島県内の事業者様からの調達を最大限に推進
- ・ 給与計算等の労務人事関連業務の一部を2014年度上半期中、お客さまへの資料郵送業務等営業関連業務の一部を2013年度中に移転

※IGCC(Integrated coal Gasification Combined Cycle=石炭ガス化複合発電)



福島復興に向けた取り組みの深化 福島復興本社の機能強化

● 福島復興本社の避難指示区域への移転。

福島復興本社を、避難を継続されている方々のご帰還に先駆け避難指示区域内に移転し、住民の皆さまに寄り添った復興・除染推進の体制を再整備

● 福島復興本社の人員増強。

「10万人派遣プロジェクト」に基づく社員の福島県各地への派遣を継続するとともに、500人規模の管理職を福島専任化

● 福島原子力事故・廃炉資料館(仮称)の設立。

甚大な被害をもたらした福島原子力事故の記憶と記録を残すとともに、膨大かつ長期間にわたる廃炉事業の過程を体系的に資料化

- ・ Jヴィレッジ(楡葉町、広野町)内に設置している福島復興本社を、避難指示区域内に移転し、復興・除染推進体制を再整備
- ・ 日本サッカー協会や地元自治体と協力し、Jヴィレッジを本来のナショナルトレーニングセンターに再生・返還
- ・ 帰還者のご自宅の清掃・除草・線量測定等、様々なご協力を実施してきた「10万人派遣プロジェクト」に加え、福島復興本社の企画立案機能を強化し、国や自治体との連携を加速
- ・ 事故の発生から現在に至る過程や、廃炉の進捗状況・今後の計画などについて、写真・動画・ジオラマ等を用いてわかりやすく展示



「福島復興が私たちの原点です」

～福島復興へ向けた取り組み～

平成25年12月26日

東京電力株式会社
福島復興本社



私どもの福島第一原子力発電所の事故により、今なお、発電所周辺地域をはじめとした福島県のみなさま、広く社会のみなさまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、改めて心より深くお詫び申し上げます。

水力、火力、原子力と、私どもが携わっている電気事業は、明治の時代からこの福島に大変お世話になってきました。このご恩を常に忘れず、そして被災されている方々の苦しみを常に忘れず、福島の再生のために「私たちにできること、私たちにしかできないこと」を、ひたむきに続けてまいりたいと思っています。

平成25年12月

福島復興本社の組織体制

福島復興本社

- 設立：平成25年1月1日
- 代表：執行役副社長 石崎 芳行
- ※約4,000人体制(平成25年12月現在)

企画総務部

- 主な業務：総括機能、地域経済復興策等の企画立案
- 設置場所：楡葉町(Jヴィレッジ)

福島原子力補償相談室

- 主な業務：賠償業務(迅速かつ円滑な賠償)
- 設置場所：福島市(総括箇所)

除染推進室

- 主な業務：除染業務(人的・技術的な協力 等)
- 設置場所：福島市(総括箇所)

復興推進室

- 主な業務：復興推進業務(地域・被災者の方々との対話活動 等)
- 設置場所：福島市(総括箇所)

復興調整室

- 主な業務：復興調整業務(関係省庁対応 等)
- 設置場所：東京都

※平成25年6月26日新設 復興推進室から独立

福島広報部

- 主な業務：広報活動(県内の原子力・火力・水力発電所の広報活動、賠償・除染・復興推進の状況の広報活動 等)
- 設置場所：福島市

各事務所

- 福島市・いわき市・郡山市・会津若松市・南相馬市

福島県内の猪苗代電力所、浜通り電力所、広野火力発電所、広野火力建設所、福島第一安定化センター、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所との協力体制を構築

復興推進活動

(ページ)

1. 福島県内への派遣活動と安全教育	4
2. 一時帰宅対応	5
3. 清掃・片付け	
▪ 屋内清掃・片付け	6
▪ 道路の清掃	7
▪ 図書館清掃・片付け	8
4. 除草作業	
▪ 墓地の除草・清掃	9
▪ 町道の除草	10
▪ 住宅等への進入路の除草	11
5. 荷物運搬	
▪ 生活支援物資の移送	12
▪ 役場移転に伴う荷物運搬	12
▪ 旧校舎解体に伴う機材等搬出	13
▪ 幼稚園移転に伴う荷物運搬	13
6. 除雪作業	
▪ 仮設住宅の除雪	14
7. その他	
▪ ふくしま浜街道・桜プロジェクト（植樹等）	14
▪ ならは雪まつり（準備等）	15
▪ タブレット端末機設定及び操作方法相談窓口対応	15
▪ 石川町桜祭り（ゴミ拾い等）	16
▪ ガンマカメラ撮影補助	16
▪ 富岡町桜の集い2013（車両誘導等）	17
▪ ひろのオリーブ村オリーブ植樹（植樹等）	17
▪ 介護研修会（講師派遣等）	18
▪ 都路灯まつり（会場準備等）	19
▪ 花の植込みおよびプランターの設置	20
▪ 福島わらじまつり（ゴミ拾い等）	21
▪ 田畑に設置した電気柵の点検	21

除染推進活動

1. モニタリング業務への対応	(ページ)
▪ 楢葉中学校解体工事着手前のモニタリング作業	22
▪ 穀物乾燥・調整・保管施設の運用再開に向けたモニタリング	22
▪ 農地モニタリング	23
▪ 小学校通学路歩行モニタリング	23
▪ モニタリングカーによる走行サーベイ	24
▪ 走行モニタリング	24
2. 除染作業現場での現場管理に関する対応	
▪ 常磐自動車道除染工事への対応	25
3. 直営簡易除染	
▪ 学校施設における簡易除染作業	26
▪ 公園における簡易除染作業	27
4. 廃棄物関連業務	
▪ 滞留牛糞堆肥流通回復への取り組み	28
5. その他	
▪ ベクレルモニターによる汚染の分析	28

原子力損害賠償について

1. 組織体制	29
2. 補償相談センター	29
3. 補償相談コールセンター	30
4. 補償推進ユニット	30

福島県産品購入の取り組み

1. 社内販売会	31
2. 社外販売会	31

活動実績

1. 復興・除染推進活動の実績	32
-----------------	----

福島県内への派遣活動

■実施日：平成23年5月～

■実施内容：

○復興推進活動のため、本店や各事業所・発電所等から、バスで福島県内へ社員を派遣している。
また、活動拠点としているJヴィレッジでは、活動に必要な情報共有のためガイダンスや、研修を実施している。

■実績：

○ほぼ毎日、片道数時間かけて1台のバスに約35名の社員が乗車（最大1日3台運行実績有り）。
【参考】乗車時間：東京→Jヴィレッジ 約3時間半／柏崎刈羽原子力発電所→Jヴィレッジ 約5時間
○1日100人以上の社員が、福島県内各地で復興推進活動に取り組んでいる。



バスへ乗り込む社員達（東京：鍛冶橋）【平成25年11月29日】



ガイダンスの様子（Jヴィレッジ）【平成25年7月8日】

刈払機の安全教育

■実施日：平成25年4月～

■実施内容：

○除草作業に使用する刈払機の使用にあたっては、事前に安全教育（座学・実技）を実施し、福島県内の各地へ社員を派遣している。

■実績：受講者数は延べ約11,800人（平成25年11月末）。



刈払機の安全教育（座学：本店）【平成25年11月29日】



刈払機の安全教育（実技：Jヴィレッジ）【平成25年12月8日】

一時帰宅対応

■実施日：平成23年5月23日～

■実施場所：福島県 大熊町(中屋敷)・富岡町(毛萱・波倉)・浪江町(幾世橋、津島)
 楡葉町(道の駅ならは)・南相馬市(馬事公苑)

■実施内容：

○帰還困難区域の市町村住民の方々がマイカーまたは、マイクロバスで一時帰宅される際、
 中継基地における住民の受付時(防護服・線量計配布)、帰着時(線量測定)の対応を実施。

■実績：

○10～60人程度／日・箇所

○福島復興本社設立以降、延べ約13,700人が実施。



車両の誘導【平成24年2月15日】



車両の誘導【平成24年12月3日】



車両の線量測定【平成25年10月22日】



車両の誘導【平成25年10月22日】

屋内清掃・片付け

■実施日：

○広野町：平成24年3月～ ○南相馬市：平成24年4月～ ○楡葉町：平成24年8月～
○富岡町：平成25年5月～ ○浪江町：平成25年7月～ ○川内村：平成25年7月～

■実施場所：福島県 川内村、富岡町、浪江町、楡葉町、広野町、南相馬市

■実施内容：

○家屋内の片付け、清掃、ゴミの運搬を実施。

■実績：福島復興本社設立以降、6市町村合計で約340軒、延べ約4,500人が実施。



片付けの様子【平成25年10月28日】



片付けの様子【平成25年12月4日】





片付けの様子【平成25年12月4日】



片付け後の様子【平成25年12月4日】

この活動については、NHK教育番組(Eテレ)の福島をずっと見ているTVにて密着取材を受け、復興推進活動の1つの活動として平成25年11月3日(日)に報道されました。

道路の清掃

■実施日：平成25年4月4日・5日、8月22日・23日

■実施場所：福島県 広野町内主要道路

■実施内容：

○日頃、弊社や弊社協力企業が多く通行している町内の道路沿いにゴミが散見されており、小中学校の新学期の時期等にあわせ、道路清掃(主にゴミ拾い)を実施。

■実績：4日間延べ約350人が実施(弊社協力企業の方を含む)。

○4月 4日・5日：延べ約210人で実施。収集したゴミ量139袋。

○8月22日・23日：延べ約140人で実施。収集したゴミ量 42袋。



清掃の様子【平成25年4月4日】

■実施日:平成25年6月12日～7月16日

■実施場所:福島県 富岡町、浪江町(富岡町図書館、浪江町図書館)

■実施内容:

○震災により倒れた書棚等の引き起こしや、散乱した本などの片付けを実施。

■実績:7日間延べ80人が実施。



片付け前【平成25年4月23日】



片付けの様子【平成25年6月12日】



片付け後【平成25年6月13日】

墓地の除草・清掃

■実施日：平成25年3月2日～9月20日

■実施場所：

○福島県 大熊町、葛尾村、川俣町、富岡町、浪江町、楡葉町、双葉町

＊ 葛尾村、川俣町、富岡町、楡葉町は平成25年7月から活動実施。

■実施内容：墓地の除草および清掃を実施。

■実績：約200日間延べ約3,300人が実施。



墓地清掃の様子【平成25年3月13日】



墓地の除草の様子【平成25年7月12日】



墓地の除草の様子【平成25年8月20日】



■実施日：平成25年7月2日～10月30日

■実施場所：福島県 浪江町

■実施内容：

○帰宅の際、草が支障となり車の進入が困難な箇所や歩行困難な箇所の除草を実施。

■実績：

○60日間延べ約1,800人が実施。浪江町内町道（全長約80km）。



除草の様子【平成25年9月11日】



除草後の清掃【平成25年9月12日】



草刈り前【平成25年7月11日】



草刈り後【平成25年7月11日】

住宅等への進入路の除草

■実施日：平成25年9月24日～

■実施場所：福島県 大熊町、双葉町

■実施内容：

○公道から住宅への進入路および駐車スペースで支障になっている雑草の除草を実施。

■実績：

○大熊町実施箇所数： 約530箇所：29日間延べ約760人が実施（平成25年11月末現在）。

○双葉町実施箇所数： 約170箇所：39日間延べ約470人が実施（平成25年11月末現在）。



除草の様子(双葉町)【平成25年10月22日】



除草の様子(大熊町)【平成25年11月21日】



除草前(双葉町)【平成25年9月17日】



除草後(双葉町)【平成25年9月24日】

生活支援物資の移送

- 実施日：平成25年2月5日～2月22日
- 実施場所：福島県 いわき市、楡葉町公共施設等
- 実施内容：
 - 分散して保管していた生活支援物資を、他の公共施設等へ運搬実施。
- 実績：7日間延べ52人が実施。



物資運搬の様子【平成25年2月8日】

役場移転に伴う荷物運搬

- 実施日：平成25年4月26日・27日
- 実施場所：福島県 三春町内
- 実施内容：
 - 三春町内の葛尾村役場貝山事務所および三春の里事務所から三春出張所（仮設新庁舎）への移転に伴う事務用品、机、椅子等の運搬を実施。
- 実績：2日間延べ46人が実施。



荷物運搬の様子【平成25年4月27日】

旧校舎解体に伴う機材等搬出

■実施日：平成25年6月17日～19日・27日・28日、8月20日～22日

■実施場所：福島県 榑葉町

■実施内容：

○榑葉中学校旧校舎内28教室の片付け、処分品の搬出、再利用品を町民体育館へ運び出しを実施。

■実績：8日間延べ約220人が実施。



片付けの様子【平成25年8月21日】



荷物の積み込みの様子【平成25年8月22日】

幼稚園移転に伴う荷物運搬

■実施日：平成25年8月21日

■実施場所：福島県 三春町
(葛尾小中学校三春校、葛尾幼稚園三春分園)

■実施内容：

○葛尾幼稚園三春分園が、葛尾小中学校の新園舎へ移転に伴い、机、タンス、本等の運搬と遊具の設置を実施。

■実績：10人が実施。



荷物の積み降ろし【平成25年8月21日】



荷物の積み込み【平成25年8月21日】

仮設住宅の除雪

- 実施日：平成24年12月10日～平成25年2月27日
- 実施場所：福島県 会津美里町内仮設住宅（榎葉町）
- 実施内容：
 - 敷地内の通路および児童館・集会所等の公共施設周辺の除雪を実施。
 - スノーダンプ、シャベル等を使用し作業実施。
- 実績：22日間延べ約340人が実施。



除雪の様子【平成25年1月28日】

ふくしま浜街道・桜プロジェクト（植樹等）

- 実施日：平成25年1月27日
- 実施場所：福島県 広野町（広野町内の国道6号線沿い）
- 実施内容：
 - 国道6号線や常磐道等に桜を植樹する「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に参加し八重桜を植樹。
- 実績：10人が実施。



植樹の様子【平成25年1月27日】



植樹から約11ヶ月後の様子【平成25年12月4日】

ならは雪まつり（準備等）

- 実施日：平成25年2月12日～2月16日
- 実施場所：福島県 会津美里町内仮設住宅（榎葉町）
- 実施内容：
 - 事前準備では雪のすべり台（長さ40m、高さ7m程度）の作成や雪合戦会場を作成。
 - 当日は、会場設営や雪のすべり台を利用する子供たちへの安全管理等を実施。
- 実績：5日間延べ36人が実施。



すべり台作成の様子【平成25年2月12日】



完成したすべり台【平成25年2月16日】

タブレット端末機設定および操作方法相談窓口対応

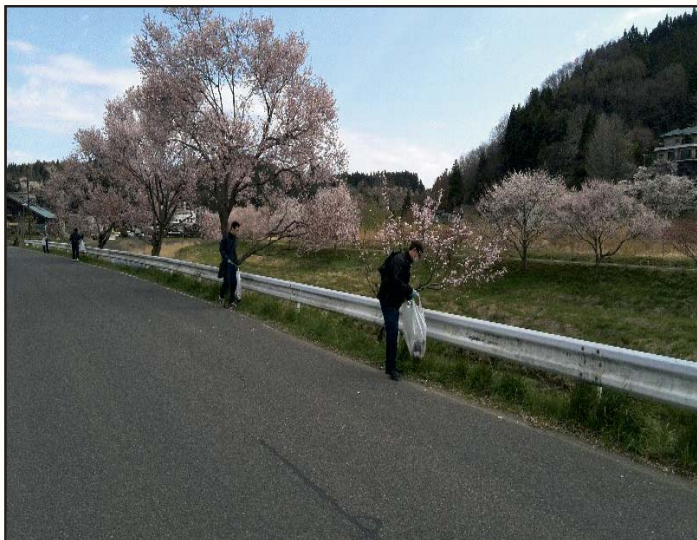
- 実施日：平成25年3月18日～6月7日
- 実施場所：福島県 いわき市内
- 実施内容：
 - 榎葉町様にて全世帯を対象に配布しているタブレット端末について、配布前の初期設定作業、配布直後の操作に関する問い合わせ窓口対応。
- 実績：56日間延べ約260人が実施。



初期設定の様子【平成25年3月22日】

石川町桜祭り（ゴミ拾い等）

- 実施日：平成25年4月13日～4月26日
- 実施場所：福島県 石川町（石川町桜まつり会場）
- 実施内容：
 - 桜まつり会場全体のゴミ拾い、ゴミ回収運搬分別を実施。
- 実績：14日間延べ約110人が実施。



ゴミ拾いの様子【平成25年4月15日】



ゴミ拾いの様子【平成25年4月23日】

ガンマカメラ撮影補助

- 実施日：平成25年4月16日～
- 実施場所：福島県 川内村内
- 実施内容：
 - 川内村様が実施しているガンマカメラ※の補助を実施。
- 実績：約120日間延べ約240人が実施。（平成25年11月末現在）

※ガンマカメラ：特定の方法からの放射線（ガンマ線）、対象表面までの距離を測定し、解析により表面の放射能の大きさを可視化する装置。



ガンマカメラによる測定作業の様子【平成25年5月21日】

富岡町桜の集い2013（車両誘導等）

- 実施日：平成25年4月19日～21日
- 実施場所：福島県 広野町（広野町中央体育館） ※当時、富岡町は警戒区域内にあったため、広野町にて開催
- 実施内容：車両誘導や会場設営・片付けなど。
 - 4/19：会場準備（体育館内におけるステージの準備など）。
 - 4/20：交通整理（来場者車の駐車場への誘導）。
 - 4/21：来場者車の駐車場への誘導関係、後片付け。
- 実績：3日間延べ約110人が実施。



車両誘導 【平成25年4月20日】



会場の後片付け 【平成25年4月21日】

ひろのオリーブ村オリーブ植樹（植樹等）

- 実施日：平成25年5月19日・6月2日
- 実施場所：福島県 広野町（ニッ沼総合公園内）
- 実施内容：
 - オリーブの植樹準備作業後、苗89株を公園内に植樹。また、マリーゴールド・サルビアの花の苗も合わせて植樹実施。
- 実績：2日間延べ26人が実施。



植樹の様子 【平成25年6月2日】

介護研修会（講師派遣等）

■実施日：平成25年5月20日～

■実施場所：福島県内で避難されている方々がお住いの市町村（いわき市、郡山市、南相馬市等）

■実施内容：

- 福島県をはじめ、13市町村※¹を対象に、ご説明・ご提案や研修会活動を実施。
 - 避難生活を余儀なくされている高齢者の方およびその介護に携わること家族を対象として、健康の維持や介護状態の悪化防止に関するサロンイベントや勉強会を実施。また、介護職員の方々を対象とした介護技術研修会も実施。
- 各講師はグループ会社※²の介護福祉士等

■実績：

- サロン企画・運営10回 [参加者：143人]
 - 介護勉強会7回 [参加者：90人]
 - 介護技術研修会17回 [参加者：325人]
- ※1回あたりの参加者数：10～30人程度

〔合計 34回 [参加者：558人]
（平成25年11月末現在）〕

※1 13市町村とは、飯舘村、いわき市、大熊町、葛尾村、川内村、川俣町、田村市、富岡町、浪江町、楢葉町、広野町、双葉町、南相馬市

※2 グループ会社とは、東電パートナーズ（株）事業内容は介護保険事業およびこれに関する研修事業・訪問介護・デイサービス・福祉用具のレンタル等



【サロン企画・運営（すき焼きじゃんけん）】



【介護勉強会（ベッドからの起き上がり介助）】



【介護技術研修会（接遇マナー）】



【介護技術研修会（介助実習）】

都路灯まつり（会場準備等）

- 実施日：平成25年7月29日～8月4日
- 実施場所：福島県 田村市都路町（都路運動場、都路中学校）
- 実施内容：会場付近の除草や清掃。灯まつりで使用する、竹灯の搬入、加工、設置等を実施。
 ○8/3：灯まつり当日は受付補助や交通整備等実施。
 ○8/4：灯まつり後の後片付け等を実施。
- 実績：7日間延べ約160人が実施。



会場付近の除草【平成25年7月30日】



竹灯の加工【平成25年7月30日】



竹灯の設置作業【平成25年8月3日】



まつりの様子【平成25年8月3日】

花の植込みおよびプランター設置

■実施日平成25年7月30日・31日、8月5日

■実施場所:

○福島県 広野町(広野町役場・JR広野駅)・南相馬市(小高駅前通り)

■実施内容:

○弊社グループ会社と協働で、土入れ等の事前準備から花の植込み、プランターの設置、道路清掃を実施。

■実績:3日間延べ60人が実施。



植込み作業(南相馬市)【平成25年8月5日】



植込み作業(広野町)【平成25年7月30日】



プランター設置前(南相馬市)【平成25年7月31日】



プランター設置後(南相馬市)【平成25年7月31日】

福島わらじまつり（ゴミ拾い等）

- 実施日：平成25年8月2日・3日
- 実施場所：福島県 福島市内（国道13号信夫通り周辺）
- 実施内容：
 - ゴミ拾いおよび車両・観客誘導およびを実施（交通誘導時間：17:00～22:00）。
- 実績：2日間延べ70人が実施。



来場者のゴミを回収【平成25年8月2日】



会場周辺のゴミ拾い【平成25年8月3日】

田畑に設置した電気柵の点検

- 実施日：平成25年9月4日～10月25日
- 実施場所：福島県 田村市都路町
- 実施内容：
 - イノシシなどの野生動物侵入による被害の防止のために、田畑に設置した電気柵の状況確認や電圧測定を実施。
- 実績：約200箇所 33日間延べ約120人が実施。



電気柵の電圧測定【平成25年9月17日】

榑葉中学校解体工事着手前のモニタリング作業

■実施日：平成25年4月4日

■実施場所：福島県 榑葉町

■実施内容：

○町が、学校の解体工事において汚染廃棄物の数量を確認したり処理方法を検討したりする際の判断材料としていただくために、解体工事に先立ち学校内外の放射線量を詳細に約180箇所測定。

■実績：10人が実施。



【榑葉中学校外観】



【校舎内でのモニタリング作業】

穀物乾燥・調整・保管施設の運用再開に向けたモニタリング

■実施日：平成25年5月16日／6月12日

■実施場所：福島県 南相馬市1箇所／榑葉町2箇所

■実施内容：

○穀物乾燥・調整・保管施設の運用再開に向け、農林水産省より汚染状況把握のためのモニタリング要請を受け実施。

■実績：延べ20人が実施。



【荷受口モニタリングの様子】



【機械表面の汚染測定の様子】

農地モニタリング

- 実施日：平成25年6月3日～7月23日（うち29日間作業）
- 実施場所：福島県 田村市
- 実施内容：
 - 田村市からの要請により、田村市の汚染状況重点調査地域の農地等 約2,400箇所について、状況把握のためのモニタリングを実施。
- 実績：延べ約380人が実施。



【モニタリング作業の様子】



【モニタリング作業の様子】

小学校通学路歩行モニタリング

- 実施日：平成25年7月30日～8月23日（うち13日間作業）
- 実施場所：福島県 西郷村
- 実施内容：
 - 西郷村からの要請により、村内5つの小学校の通学路の歩行モニタリング※を実施。
 - 測定道路長 約185km、測定点 185,387点。
- 実績：延べ26人が実施。

※歩行モニタリング

歩行しながら移動距離1m毎に空間線量を自動計測し、自動車（モニタリングカー）が入りづらい狭い道での測定が可能。



【測定器収納BOXの中】



【歩行モニタリングの様子】

モニタリングカーによる走行サーベイ

- 実施期間:平成25年1月9日より第12巡目を実施。11月末現在、第15巡目まで終了。
- 実施内容:
 - 内閣府・原子力規制委員会からの要請により、福島県内の避難指示区域の主要道路(約1,550km)を走行サーベイ実施。1巡あたり5週間程度、計測走行。計測データを提出後、国から公表。
 - 平成23年8月から実施の第1巡より継続的に対応。
- 実績:平成25年1月以降、延べ約280名が実施。



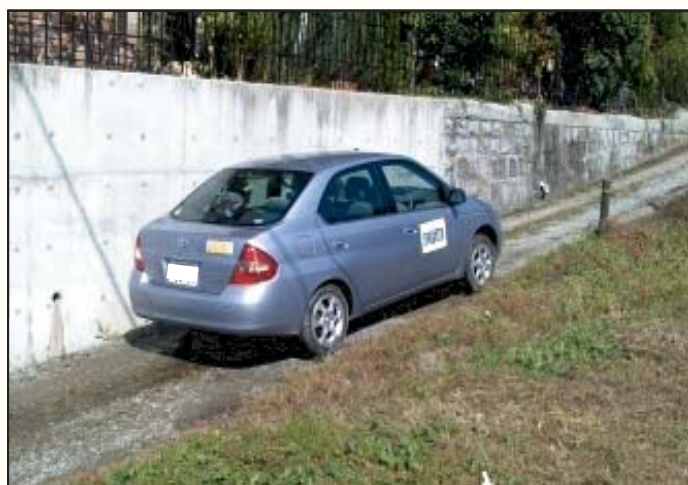
【走行サーベイの様子】



【走行サーベイの様子】

走行モニタリング

- 実施日:平成25年9月20日～10月22日(うち19日間作業)
- 実施場所:福島県 川俣町(避難指示区域外)
- 実施内容:
 - 川俣町では、近畿大学が開発したサーベイモニタリングシステムを活用して、自動車走行モニタリングを実施しており、第1～14巡目まで終了。
 - 第五巡目以降の走行モニタリングについて川俣町から要請があり、当社が第5巡目の走行モニタリングを実施(走行距離は約960km)。
- 実績:社員 延べ55人が実施。



【走行モニタリングの様子】



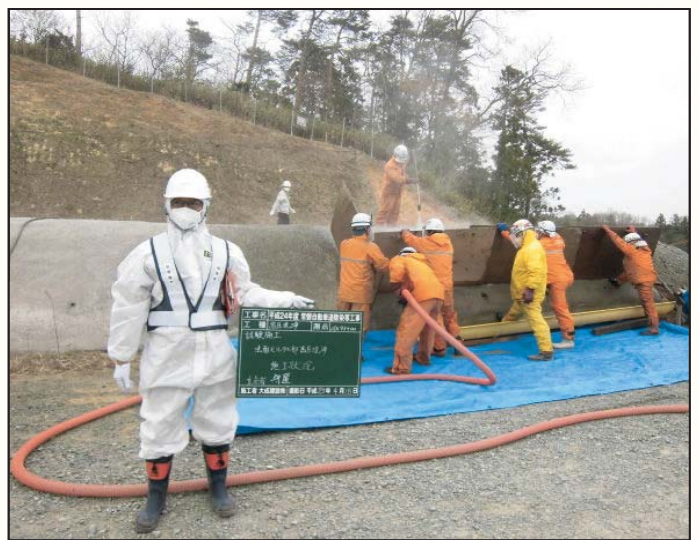
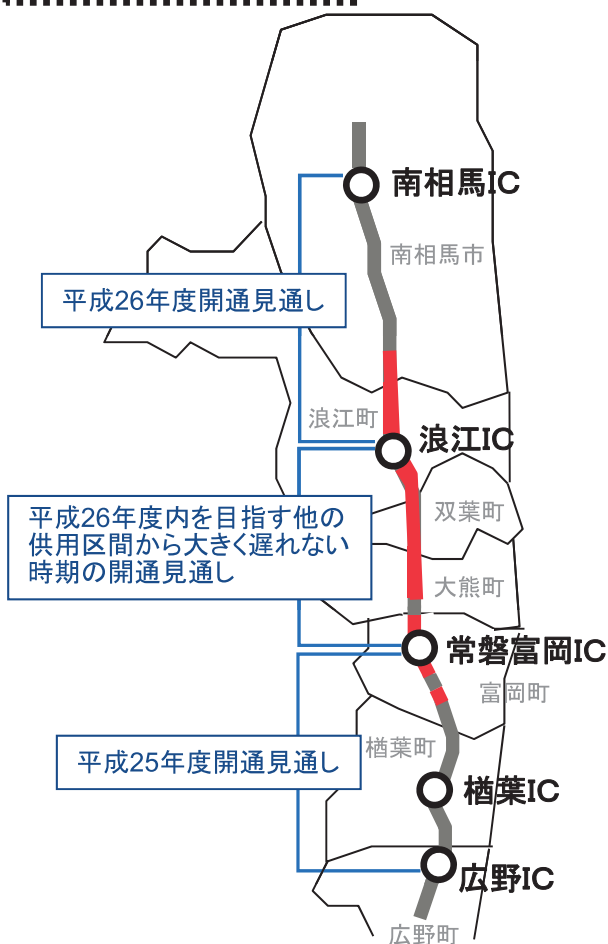
【測定装置】

常磐自動車道除染工事への対応

- 実施日：平成24年11月16日～平成25年10月31日
- 実施場所：常磐自動車道（富岡町～南相馬市間）約21km
- 実施内容：
 - 工事監督員として、平成24年11月より工事監理業務に対応。
 - 工事の設計資料等の作成の他、工事監理時の品質面や安全面に対応。
 - 除染作業は無災害で6月末に終了し、10月末には仮置場整備、除染後モニタリングを実施。
 - NEXCO東日本様によれば、広野IC～南相馬ICの復旧・整備工事が再開され、平成25年度内には広野IC～常磐富岡IC間の開通見通しの状況。
 - 今回の工事監督経験を踏まえ、今後環境省が進める除染活動の加速化に力を注いでいく。
- 実績：延べ約1,500人が実施。

本格除染実施箇所

- 常磐自動車道
- 除染箇所



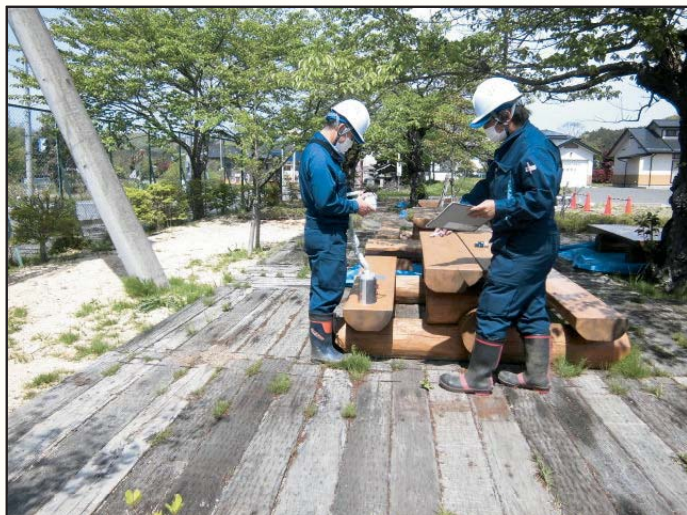
【法面コンクリート部高圧水洗浄の様子】



【橋梁部ブラスト作業の様子】

学校施設における簡易除染作業

- 実施日：平成25年5月7日～6月4日（内18日間の作業）
- 実施場所：福島県 西郷村
- 実施内容：
 - 村からの要請により、小学校等9校の木製ベンチ89個について、簡易除染作業を実施。
- 実績：延べ約150名が実施。



【除染前のモニタリングの様子】



【簡易除染の様子】

学校施設における簡易除染作業

- 実施日：平成25年5月11日、12日
（後日に3日間の覆土作業あり）
- 実施場所：福島県 大玉村
- 実施内容：
 - 村からの要請により中学校の中庭の除染を実施（庭石、樹木、池等があり、起伏の多い場所のため、全て手作業で実施）。
 - 作業の結果、空間線量は地上1mで0.3～0.4 μ Sv/h程度から半分程度に低減。
- 実績：延べ70人が実施（各日24名ずつ＋覆土作業22名）。



【簡易除染の様子】



【簡易除染の様子】

学校施設における簡易除染作業

- 実施日：平成25年7月10日～11日
- 実施場所：福島県 大玉村
- 実施内容：
 - 村からの要請により、校庭植込み部の簡易除染作業を実施。
 - 作業範囲は約540m²。作業によりモニタリングポストの指示値は約0.34μSv/hから約0.20μSv/hへと低減。
- 実績：延べ28人が実施。



【簡易除染の様子】



【簡易除染の様子】

公園における簡易除染作業

- 実施日：平成25年8月26日～9月2日(うち5日間作業)
- 実施場所：福島県 郡山市
- 実施内容：
 - 郡山市からの要請により、公園内の祭り会場他の簡易除染作業を実施。
 - 作業範囲は約1,200m²。作業により空間線量率は約半分まで低減。
- 実績：延べ80人が実施。



【簡易除染の様子】



【簡易除染の様子】

滞留牛糞堆肥流通回復への取り組み

■実施日：平成25年5月23日（初回運搬）

■実施内容：

○暫定許容値(400Bq/kg)以下の滞留堆肥を流通させるため、県及び地元自治体等が、各地域の滞留堆肥供給者と受け入れ先とのマッチングの調整を行い、当社が堆肥の運搬、施用を行うもの。第一弾として白河市農業再生協議会、福島県及び当社で協定書を締結し、5月末から運用開始。新たな受け入れ先の確保に向けて継続して対応。



【運搬された堆肥】



【堆肥施用の様子】

ベクレルモニターによる分析

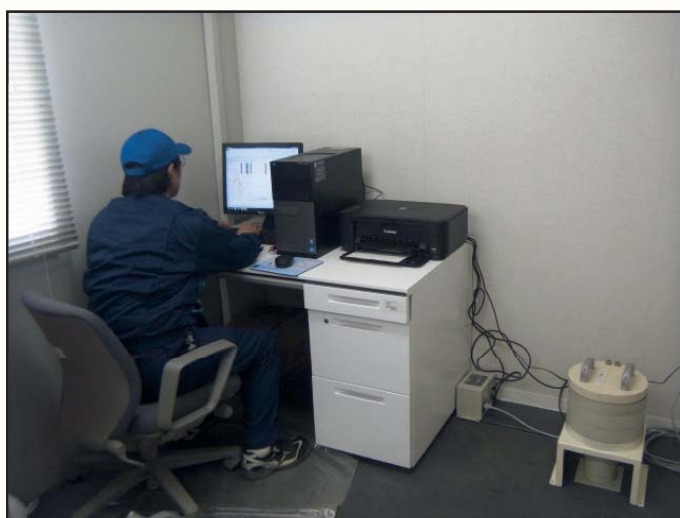
■実施日：随時実施

■実施内容：

○市町村からの依頼により、現地で採取した土壌等の放射能を分析。

○1月からの累計で約1,300検体の分析を実施。

■実績：延べ約400人が実施。



【ベクレルモニターによる分析】



【測定用の容器に試料を入れる様子】

迅速な原子力損害賠償に向けた組織体制

- 「親身・親切的な賠償のための5つの約束」を踏まえ、被害を受けられた皆さまに迅速かつ公正な賠償金のお支払いを実現するため、約1万人体制で賠償を進めております。
- 今後も賠償の進捗に応じて必要な体制を弾力的に整備するとともに、業務の運用改善等を図ることにより、引き続き最大限努力してまいります。



【福島原子力補償相談室配属前研修の様子】

福島原子力補償相談室(約1万人体制)

全
体
の
支
援
・
管
理

150
人

補償相談ユニット

補償相談センター

(14カ所) 2,000人

[内、福島県内は1,200人]

補償相談コールセンター

600人

補償推進ユニット

6,600人

補償相談センター

- 設置数: 14カ所(福島県内に4カ所、福島県外に10カ所)
- 業務内容:
 - 説明会、相談窓口、事前審査、個別訪問、ご請求書等の配布・受付、現地調査・説明。
 - 補償相談センターは相談窓口(18カ所)を設置し、ご請求者さまからのご相談を承ったり、説明会の開催や、ご請求者さまからのご要請等による個別訪問をおこなっています。
- 体制: 約2,000人(内、福島県内は1,200人)
- 実績: 窓口での受付対応件数 約185,500件、説明会開催件数 約700件、説明会へのご来場者数 約16,500人、個別訪問件数 約24,600件(復興本社設立以降平成25年11月27日まで)。



【相談窓口】



【個別相談ブース】
(ご来場をお待ちしているところ)

補償相談コールセンター

■業務内容：

- 電話での受付・ご説明・ご相談対応を1年365日（9時～21時まで）、実施しております。
- 仮払補償金を受けておられながら本賠償を全く請求されていない方々に対しては、平成25年7月からダイレクトメールをお送りしておりますが、その方々に対し翌8月から、当コールセンターより電話をかけてご請求のご案内をしています。

■体制：約600人

■実績：ご請求者さまからいただくお電話の本数は1日あたり約2,300本（開設からの平均値）。



【補償相談コールセンターの様子】

補償推進ユニット

■業務内容：

- ご請求書等の発送・受領、ご請求書記載内容等確認、賠償額算定、賠償の考え方についてのご説明と協議、支払い手続き。
- ご請求の確認には、「個人賠償」「法人賠償」「財物賠償」に大別した業務運営体制で迅速かつ公正な賠償の実施に努めております。

■体制：約6,600人



【補償推進ユニットの様子】

福島県産品購入の取り組み（社内販売会）

■実施日：平成23年11月～

■実施場所：東京電力本店（本館2階）・各店所

■実施内容：

○社員一人ひとりが福島県産品を購入するよう、本店をはじめ各店所で福島県産品の社内販売会を実施。

■実績：販売会 約50箇所延べ70回程度開催（復興本社設立～10月末現在）



本店販売会の様子【平成25年7月11日】



本店販売会の様子【平成25年9月11日】

福島県産品購入の取り組み（社外販売会）

■実施日：平成25年9月～

■実施場所：一般企業工場内等

■実施内容：

○一般企業等を対象に福島県産品の販売会を実施。

■実績：販売会 3回開催



販売会の様子【平成25年9月30日】



販売会の様子【平成25年10月30日】

＜復興推進活動＞

項目	内容	対応人数実績
一時帰宅対応 (p5)	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約18,200人
清掃・片付け (p6,7,8)	屋内清掃・片付け、道路の清掃、図書館清掃・片付け	約8,700人
除草作業 (p9,10,11)	墓地の除草・清掃、町道の除草、住宅等への進入路除草	約7,300人
荷物運搬(p12,13)	生活支援物資の移送、役場移転に伴う荷物運搬、幼稚園移転に伴う荷物運搬	約400人
除雪作業 (p14)	仮設住宅の除雪	約400人
その他 (p14～21)	ガンマカメラ撮影補助、タブレット端末機設定および操作方法相談窓口対応、田畑に設置した電気柵の点検、他	約7,800人
合 計		約42,900人

＜除染推進活動＞

項目	内容	除染特別地域	除染状況重点調査地域
モニタリング業務への対応 (p22～24)	公共施設(学校、農業関連施設)のモニタリング作業、モニタリングカーによる走行サーベイ、小学校通学路歩行モニタリング、スクリーニングポイントへの対応	約5,600人	約7,100人
除染作業現場での現場管理に関する対応 (p25)	各市町村での除染作業情報の収集と提供、常磐自動車道除染工事への対応	約2,500人	約1,600人
直営簡易除染 (p26,27)	学校施設における簡易除染作業、公園における簡易除染作業	—	約1,400人
除染発注業務への対応	除染作業や仮置場の設計・建設に係る技術的協力、除染作業に係る歩掛り調査への対応	約500人	約900人
廃棄物関連業務 (p28)	滞留中の牛糞堆肥運搬・施用を促進するスキームへの対応	約100人	約600人
その他(p28)	墓地除染のための事前現場調査、除染情報プラザの運営協力、除染作業請負者さま向け「除染講習会」に係る対応、ベクレルモニターによる分析、他	約3,100人	約3,600人
合 計		約11,800人	約15,200人

本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。

0 2 4－5 2 2－7 9 5 4（福島広報部直通）